

## 会議の要旨（議事録）

会議の名称	第1回鳥栖市男女共同参画懇話会		
開催日時	平成24年6月21日 (木曜日) 13:00～15:00	開催場所	鳥栖市役所 1階第2・3会議室
出席者数	委員 10人 事務局 4人	傍聴人数	0人
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 委嘱状の交付</li> <li>3. 市長あいさつ</li> <li>4. 委員自己紹介</li> <li>5. 会長及び副会長の選任</li> <li>6. 会長及び副会長あいさつ</li> <li>7. 会議の公開について</li> <li>8. 男女共同参画社会基本法について</li> <li>9. 鳥栖市の男女共同参画行動計画及び取り組みについて</li> <li>10. 今後のスケジュールについて</li> <li>11. 意見交換</li> <li>12. 閉 会</li> </ol>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 鳥栖市男女共同参画懇話会委員名簿</li> <li>・ 鳥栖市附属機関等の会議の公開に関する要綱</li> <li>・ 鳥栖市男女共同参画懇話会設置要綱</li> <li>・ 女性の公職参加状況</li> <li>・ 第2次鳥栖市男女共同参画行動計画策定に向けての提言及び平成22年度事業評価</li> <li>・ 平成23年度男女共同参画行動計画（後期）取組状況報告書</li> <li>・ 鳥栖市男女共同参画行動計画（後期）</li> <li>・ 鳥栖市男女共同参画行動計画（後期）ダイジェスト版</li> <li>・ 男女共同参画社会に関する市民意識調査結果報告書</li> <li>・ 平成24年度男女共同参画懇話会等スケジュール（案）</li> </ul>		
所 管 課	(課名) 市民協働推進課 (電話番号) 85-3508		

## 第1回鳥栖市男女共同参画懇話会議事録

### 1. 開会

○市民協働推進課長

### 2. 委嘱状の交付

○市長から委嘱状の交付

### 3. 市長あいさつ

### 4. 委員自己紹介

○各委員より自己紹介

### 5. 会長及び副会長選任

会長：吉岡剛彦委員、副会長：山崎利昭委員、副会長：山津美智子委員に決定

### 6. 会長及び副会長あいさつ

### 7. 会議の公開について

《事務局より説明》・・・資料：鳥栖市附属機関等の会議の公開に関する要綱

会議の傍聴について承認

本日の傍聴者・・・なし

### 8. 男女共同参画社会基本法について

《事務局より説明》・・・資料：鳥栖市男女共同参画行動計画（後期計画）P69 参照

### 9. 鳥栖市の男女共同参画行動計画及び取り組みについて

《事務局より説明》・・・

資料：鳥栖市男女共同参画行動計画（後期）

鳥栖市男女共同参画行動計画（後期）ダイジェスト版

平成23年度男女共同参画行動計画（後期）取組状況報告書

第2次鳥栖市男女共同参画行動計画策定に向けての提言及び平成22年度事業評価

男女共同参画社会に関する市民意識調査結果報告書

《会長》

ありがとうございました。鳥栖市の男女共同参画行動計画及び取り組みについて事務局より説明がありました。何かご質問はございませんか。

○委員

資料、平成23年度男女共同参画行動計画（後期）取組状況報告書 P32 の女性人材リスト登録について、目標が45人で、このリストからはいろいろな分野の審議会・委員会に活用されるものなのでしょうか。

《事務局》

計画策定時は8人で現在25人、平成23年度は2名登録していただいた。また、庁内における男女共同参画推進会議には、名前等のリスト一覧を配布し女性人材リストからの委員の選任についてお願いした。登録者はそれぞれ得意とする分野があるので、登録時に登録された分野での活用をお願いしている。

○委員

資料、平成23年度男女共同参画行動計画（後期）取組状況報告書 P19 のファミリーサポートセ

センターの利用件数について、策定時 4,042 件から現状が 1,970 件の半分以下に落ち込んでいることについて理由があるのでしょうか。そして、目標値を 4,500 件にされているのでその停滞要因もわかっておられるのでしょうか。どうしたら策定時に戻すことができるのか、何か見込まれているのでしょうか。

#### 《事務局》

策定時は10年前の数値であって、このまま利用され続ければ、目標値としている数値に近づけるのではないかとこのところでの数値でしたが、実際は年々減少してきた。1時間600円の利用率に市が100円の助成をしてワンコインで利用できるようしていたが、利用会員と協力会員の組合せとかがうまくいかなかったり、いろんなフォーラム等の講演会での集団託児も一時期対応できなくなったりした。10年前はファミリーサポートセンターも出来たばかりで利用を増やそうと推進していたが、思ったようには利用が増えなかった。

また、以前は全保育所で一時保育をしていなかったが、現在はすべての保育所で一時保育をされているということや、景気の低迷による経済的負担などさまざまな社会状況の変化があり、利用件数が増えていない現状があるのではないかと推測している。

#### ○委員

確か、ワンコインの制度は今年度から廃止され100円の助成はなくなったと思う。私自身保育所に勤めていたことがあり、以前は、保育園の夕方のお迎え時間が決まっていた時に、両親が迎えに来る時間が遅かった時にはファミリーサポートセンターの利用も促していたが、有料ということもあり経済的負担がかかることから遠慮されるところもあった。

#### ○委員

利用者が少なくなったことはある意味、他の利用できる施設や制度の環境が良くなって、ファミリーサポートセンターを利用しなくてもよくなったということであれば、とても素敵なことだと思う。しかし、この目標値をきちんと見極めておく必要があったのではないだろうか。

また、私には現在20歳と11歳の子どもがいるが、2人を保育園に預けた時の環境は全然違った。どんどん環境は良くなってきていると思う。病後児保育や延長保育をされる保育園もできてきている。

#### 《事務局》

鳥栖市は保育に対する施策について、子育て世代の転入も多いことから市としても力を入れてきたところである。10年前に比べれば預けやすくなっているし、条件もそろっていることは事実。目標値は、増えると見込んでいたが実際は利用者が減ったということになった。

#### ○委員

ファミリーサポートセンターと各保育園での一時保育の料金体系の違いにより、それによって利用するところを選ばれているのではないだろうか。

#### 《会長》

先程、赤ちゃんを訪問されていると言われていましたが、子育てをされている親が、預けるところがあれば預けたいが、預けられない理由が何かあるような雰囲気はありますか。

#### ○委員

私たちが訪問する赤ちゃんは、0歳児のため一時保育の利用ができない方々なのでそういう意見はあまり出てこなかったが、家の中で子どもとどのように1日過ごすかということで地域のいろんな支援や施設を利用するようお話しをしている。その中でお父さん(夫)との協力はどのような状態か尋ねているが、母親や子どもの様子がおかしいと思うところがあった家庭は、父親の仕事にほとんど休みがないといわれており、保健センターと連携しながら見守るようにしている。

#### 《会長》

その他の内容で、ご意見などありませんか。

## ○委員

男女共同参画に関する講座等への参加者数について、気になっている。後期がどの程度講座を計画されていたかにもよると思うが、目標は1,000人になっている。自分も時間が許す限り参加しているが、顔ぶれがあまり広がらないと感じた。実は男女共同参画というのは誰にとっても関わりのあるテーマなのに市民の意識は高まらないし、会場まで足を運んでもらうというところまで繋がらないことが、もどかしく感じておられるのではないかと思います。

昨年度のフォーラムの伊藤比呂美さんの時には、私は参加できなかったが会場溢れるぐらいとても多かったと聞いた。講演者への興味も大事だと思うが、そこまで有名な方ではなくても男女共同参画は自分自身に関係することなんだと話を聞きにきてもらいたいので、そうするためにはどうしたらいいのか、なるべく目標値に近づけるためにはどうしたらいいのだろうかと考えているところです。今回どれくらい講座が予定されているのかわかれば教えていただきたい。

### 《事務局》

平成23年度のフォーラムはとても人気がある方で、日程を調整するのも2年がかりだった。西日本新聞にも連載されている関係で、鳥栖市内に限らず久留米や福岡からも参加されていた。男女共同参画は子育てや介護、仕事の話など入口が広い。それらのさまざまな内容の相談に男女共同参画の視点でおもしろおかしくお答えになられており、そのような方だったから来場者が多かったのではないかと思います。

その前は、また違ったテーマで熊本の慈恵病院看護部長の田尻由貴子さんに「このとりのゆりかご」について、子どもに関するところからお話しをしていただき、約150名の来場者があった。テーマが限られていたことと、これに興味があった方が参加されたと思う。

1,000名という大きなテーマを掲げていますが、大きな講演会から小さなグループワークなども開催しており、今年は6月の毎週金曜日にアバンセと共催で子育て中の母親を対象に、今の時期にスキルアップしていただく講座を開催している。小さな講座はなかなか参加者人数は増えないが、それはそれで必要な講座なのかなと思っている。いろんな方に興味を持ってもらえる講師の方に来ていただくことも大事だと思っているところである。

因みに、今年度のフォーラムは前熊本県知事の潮谷義子さんを講師に迎え、開催する予定ですので、是非みなさんご参加いただければと思います。

### 《会長》

私も、講演会などを行っておりますが、一番聞いてもらいたい人たちに来ていただけない。また、男女共同参画という名前を出さないほうがいいかなとも思っていて、タイトルは来やすいようなものにしておいて、まず来ていただいて話を聞いてもらうなど、工夫の余地があると思っております。

## ○委員

私は実行委員会にも所属しており、まずテーマを決めてそれに合う講師を探し日程を調整すると、交渉して実現するまで2年～3年かかる。開催時期についても、いろんな行事と重なったり、講師に依頼が集中してしまうこともある。PRするにしても誰を対象にPRしていくかについて検討しているところである。一般対象者にとは思っているが、主要な団体の方には是非聞いていただきたいということでご案内をしているが、無理な動員まではしていない。

先程、事務局から説明があったが潮谷さんの講演は是非みなさん足を運んでいただければと思います。

### 《会長》

鳥栖市の行動計画や取組みについては、今後計画をつくる段階でまたご意見をいただくということで、次に今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

## 10. 今後のスケジュールについて

《事務局より説明》・・・資料：平成24年度男女共同参画懇話会等スケジュール（案）

- ①平成24年度は、今回を含め懇話会会議を5回予定。事務局と行政推進会議で行動計画の素案を検討し、懇話会会議に諮りながら作りあげていく予定。11月12月頃にはパブリック

コメントを実施したいと考えているが計画の素案作り等の進捗状況によっては時期がずれる可能性あり。

- ②啓発事業では、7月28日に男性の家事参加促進セミナーとして「そば打ち体験」、1月26日に男女共同参画フォーラムを予定している。
- ③男女共同参画週間における行事として、6月30日に佐賀県男女共同参画フォーラムが神崎市で開催される。是非これらの行事にもご参加していただきたい。神崎まで事務局と一緒に同行されたい方は後ほどお申し出下さい。

また、資料に女性登用状況の推移の資料がありますので、参考までにご覧下さい

《会長》

ただいま事務局から今後のスケジュールについて説明がありましたが、何かご質問等はありませんでしょうか。

次の開催時期は8月にあるということと、6月30日（土）には「男女共同参画フォーラム」の案内がありましたのでみなさんどうぞよろしくお願いいたします。

次に意見交換となっておりますが、予定の時間が近づいておりますので、できれば今日あまりご発言されなかった方に一言ご意見を伺ってよろしいでしょうか。

○委員

今日が初めての参加で、皆さんのお話についていけないというのが率直な感想です。

○委員

男女共同参画という言葉の難しさがいつもついてまわる。本当はもっと分かり易い言葉が見つかるのではないかと考えているのですが、お互いを認め合って、相手の意見をしっかり聞いて「ありがとう」という言葉をお互いにかけてあげる、感謝するような社会になればこの男女共同参画社会になっていくのではないかなと思う。先程も言われていましたが、有名な人が来て参加者がたくさん来たから成功したということではなく、小さな講座でもお互いが分かり合える内容になっていけるように、私たちも頑張っていかなければいけないと思いました。

○委員

病気した関係で食事管理などの家事は自分でするようにしているが、サボったときは妻から怒られることもある。先程の委員が言われたように、してもらったことに対してはありがとうをきちんと言うようにしている。

《事務局》

個人的なことにはなりますが、娘が言うには家事ができない男性とは結婚しないとっており、若い女性は家事ができる男性のことを肯定し、男性もそれを否定していないようである。それらについては柔軟になってきているなどと思う一方、食事に行ったとき、彼がおごってくれないとケチだと言っている娘に、考え方の矛盾を感じた。男女平等であればどちらが支払ってもいいのではないかとやっている。経済的自立としては大事なことできちんと考えるべきことだと思うが、娘の世代にはおごらない男性はケチだという考えもまだあるようだ。

娘達の世代にもそれらの考え方に対する意見が入り混じっており、男女共同参画社会とどう繋がっているのか考えているところですが、お子様をお持ちのかたはいかがでしょうか。

○委員

私の母親は昔から男女平等の考え方だったため、そのような環境の中で育ってきた。昔働いていた頃は、年上の男性が年下の人によくおごっていたが、今はそんなにおごるような経済的な余裕がないのではないかな。だから、「おごる」「おごらない」ということについては別に考えたほうが良いと思う。

○委員

家庭環境というのは、すごく影響していると思う。私の娘にもお付き合いしている男性がいますが、

その男性の家庭環境は両親が共働きであるため何でもしているらしく、彼も料理などの家事全般はするとのこと。食事に行った時は、割り勘だったため娘は最初とまどっただけですが、今はそれに慣れたと言っていた。男性も育った環境で違うと思うし、家事も半分ずつする分、食事代も割り勘という考え方なのだと思う。それで、私の娘も男性は料理ができないとモテないと言っていた。

## 12. 閉会

○会長

そろそろお時間となりましたので、みなさまありがとうございました。男女共同参画という言葉は仰々しいですが、私なんかは「思いやり」とかそういうことだと思っており、懇話会のみなさんご意見を伺いながら次の計画を作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、本日の鳥栖市男女共同参画懇話会を終わらせていただきます。お疲れ様でした。